

中小企業のための原価計算 ～見える化でわかる～ 第4回

… 販売予想の重要性 ～製造間接費の配賦について～ …

今回は、製造間接費の配賦で生じる原価差異の原因についての話です。原価差異の原因は製造部門にのみあると思われがちですが、必ずしもそうではありません。

(1) 製造間接費の配賦

製造間接費の多くは固定費が占めています。原価計算では、この固定費をその会計期間に生産する製品に配賦していくことになるため、生産量が増減すれば、単位当たりの製品原価も増減することになります。

(2) 配賦差異の原因

実際生産量と見込生産量との差は、原価計算において製造間接費の配賦差異となり、月次決算を通じて経営数値の誤差となる問題が生じます。しかし問題の本質はむしろ、予想した生産量にあわせて準備した人員や設備の稼働体制に要したコスト、資材調達にかかったコストの無駄にあります。

(3) 営業部門に責任があるかも…

配賦差異を極力小さくするためには、見込生産量を実際生産量に近づけていくことが必要であり、そのためには、より正確な販売予測、在庫計画が必要となります。これらは主に営業部門を中心として行われますが、単なる努力目標や、過去実績の引き直しではなく、より正確な製品種類毎・月次毎の予想が求められます。

製造原価は生産部門で発生しますが、その発生には営業部門も関係しており、特に販売予測ミスによるコスト・アップは営業部門が責任をもたなければならないことを認識する必要があります。

(参考文献：経営に活かす原価計算の実務 公認会計士 金岡光男 同文館出版)

お問い合わせはお気軽にどうぞ！ 電話：03-6266-2533

法人3課 田辺・辻田・栗原・高柳・高畑・大塚・神谷